



リバーズウッドデッキシステム 施工要領書

標準仕様(ビス・ノンビス仕上)

＜デッキ高さ対応範囲＞＝150mm～270mm

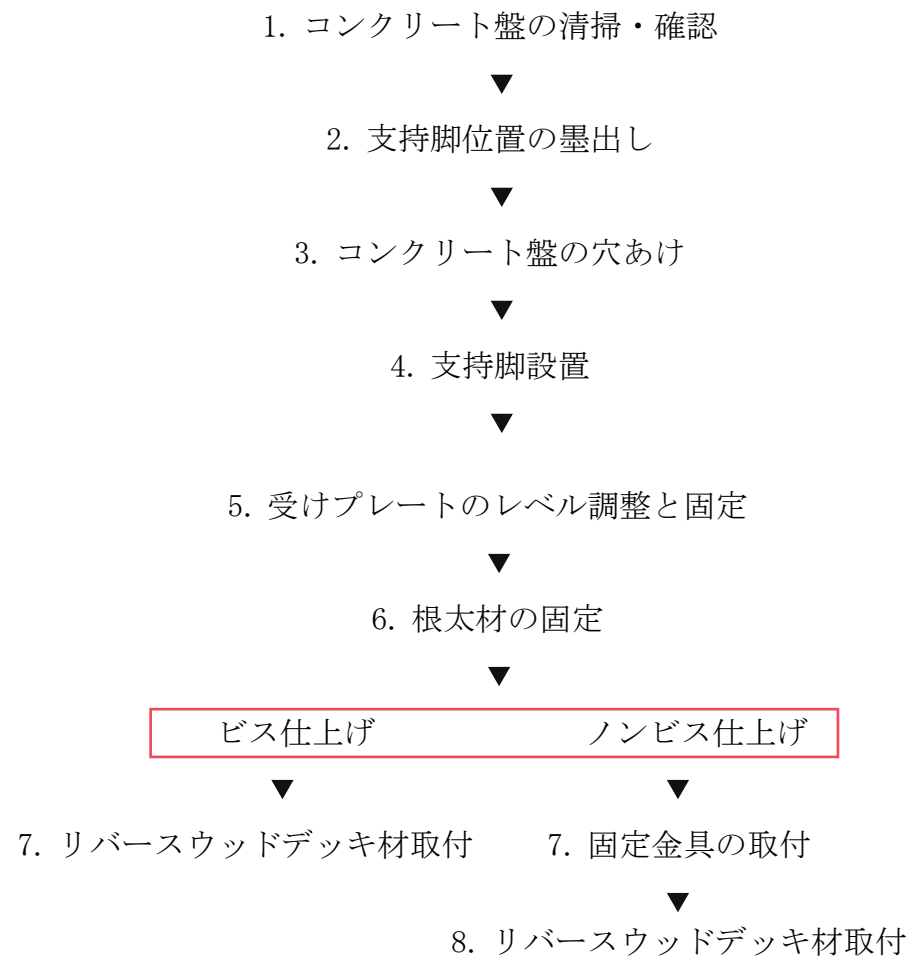
地 域	海岸からの距離			
	～1km	1～2km	2～7km	7km以上
沖縄・離島	塩害地域			
瀬戸内海	岩礁隣接地域 ※1 ※2	塩害地域	一般地域	
北海道・東北日本海側 ※1		塩害地域		一般地域
その他の地域		塩害地域		一般地域

※1：北海道・東北日本海側で海岸からの距離7kmは塩害地域となり、下記地域が適用されます。

・北海道：松前町～稚内市
・東北：青森県東海村～山形県温海町

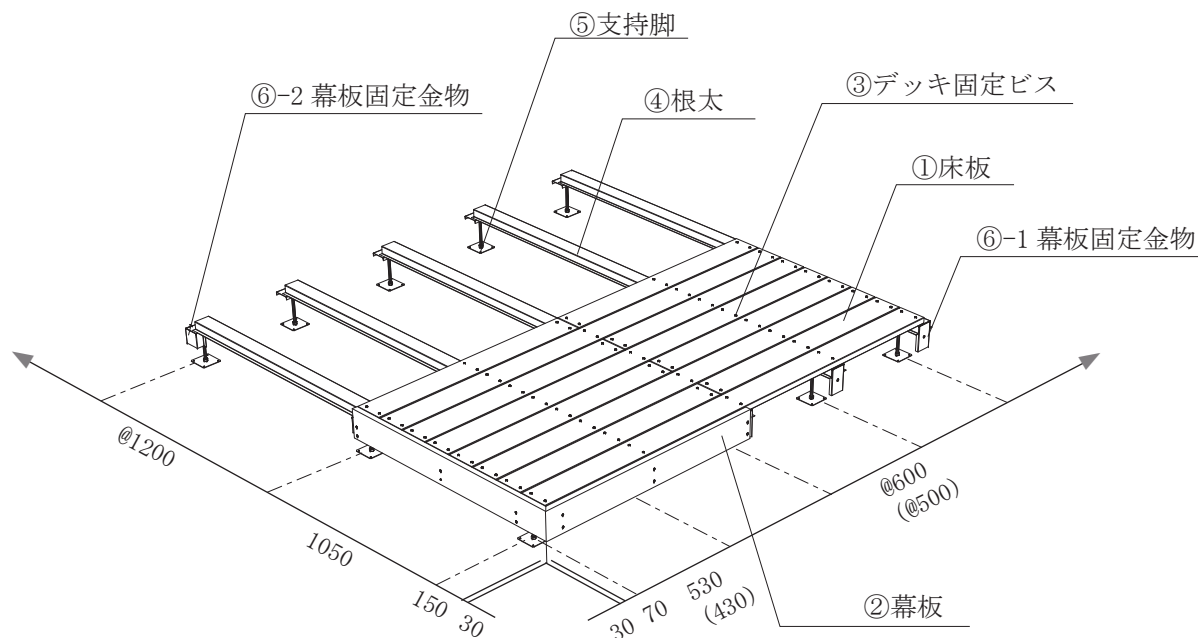
※2：岩礁隣接地域とは、海水のしぶきが頻繁にかかる、もしくは強風時に海水が直接かかる地域を示します。

施工手順



構成と部材

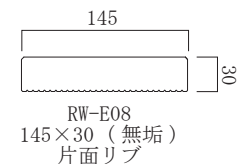
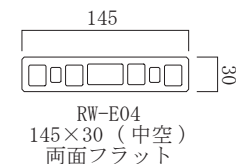
例：ベースプレートタイプ



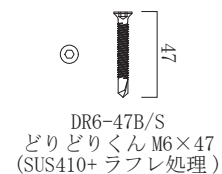
■標準仕様の施工基準

- ・乗載荷重 3500N (約 350kg) / m²
- ※() は乗載荷重 5000N (約 500kg) / m²を設定の場合
- ・支持脚ピッチ@1200mm 根太間ピッチ@600(500)mm
- ・デッキ材目地幅 5mm
- ・デッキ材長さ標準 2394(1995)mm
- ・リバースウッドの張り方の標準→千鳥配列, 芝目張り

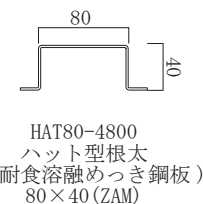
①・②リバースウッド



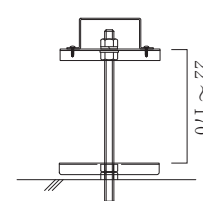
③専用固定ビス



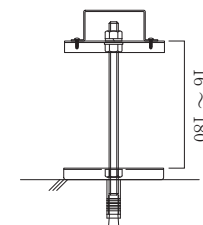
④根太



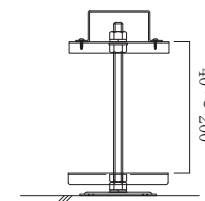
⑤支持脚



■コンクリート下地等
削孔可能な場合

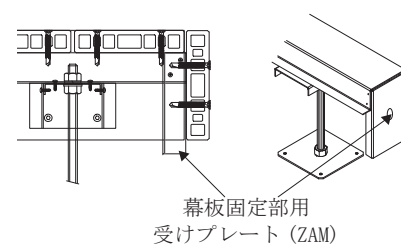


■小面積で急速施工
が必要な個所

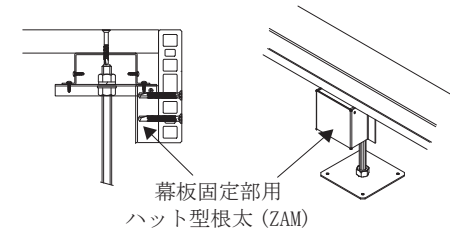


■下部に防水層がある場合

⑥-1 幕板固定金物
(根太木口側)

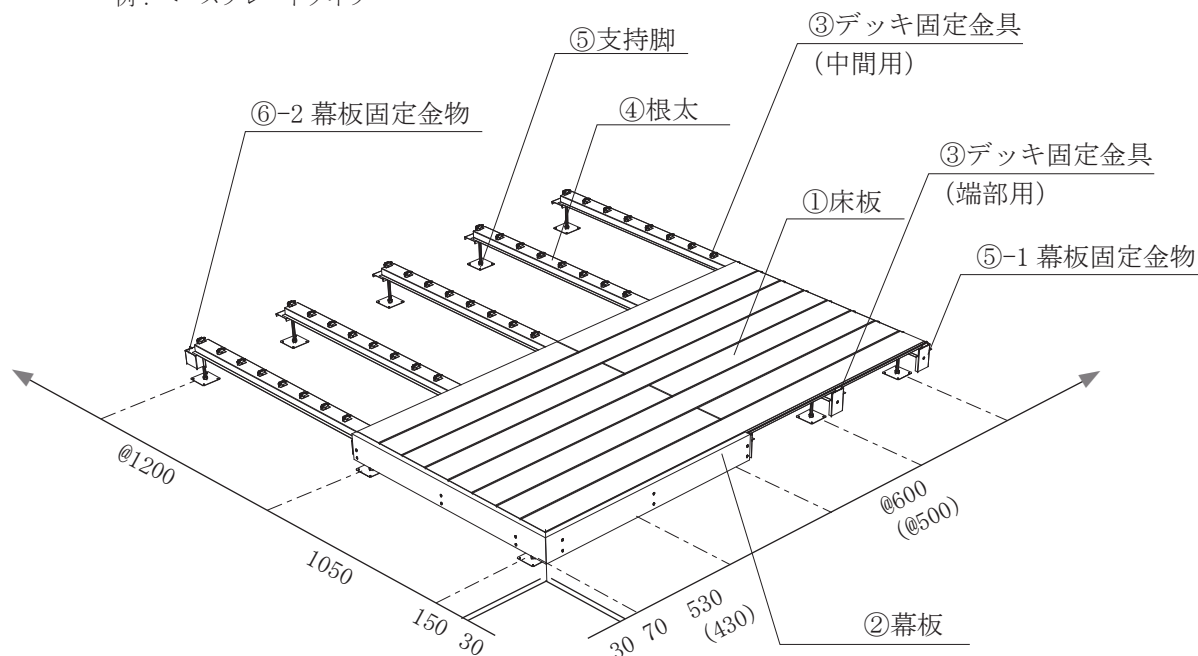


⑥-2 幕板固定金物
(根太側面側)



構成と部材

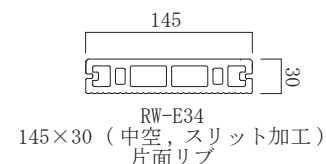
例：ベースプレートタイプ



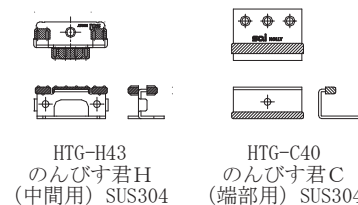
■標準仕様の施工基準

- ・乗載荷重 3500N (約 350kg) / m²
- ※() は乗載荷重 5000N (約 500kg) / m²を設定の場合
- ・支持脚ピッチ@1200mm 根太間ピッチ@600(500)mm
- ・デッキ材目地幅 5mm
- ・デッキ材長さ標準 2394(1995)mm
- ・リバーウッドの張り方の標準→千鳥配列, 芝目張り

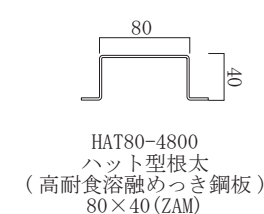
①・②リバーウッド



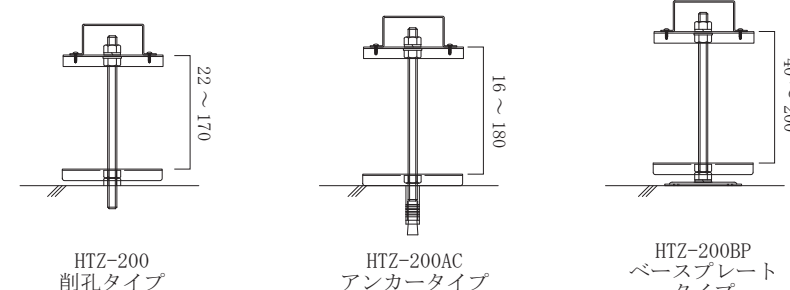
②デッキ固定金具



③根太



⑤支持脚

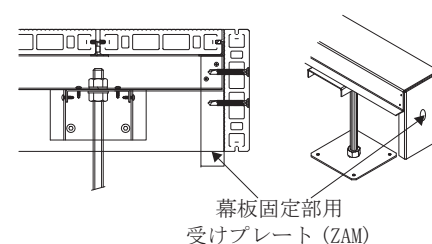


■コンクリート下地等
削孔可能な場合

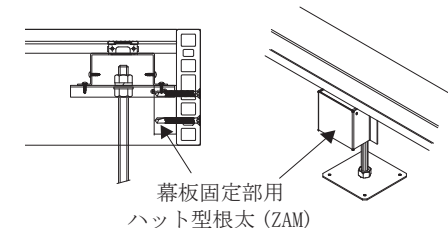
■小面積で急速施工
が必要な箇所

■下部に防水層がある場合

⑤-1 幕板固定金物
(根太木口側)



⑤-2 幕板固定金物
(根太側面側)



施工手順1：コンクリート盤の清掃・確認 施工手順2：支持脚位置の墨出し

1 <コンクリート盤の清掃・確認>

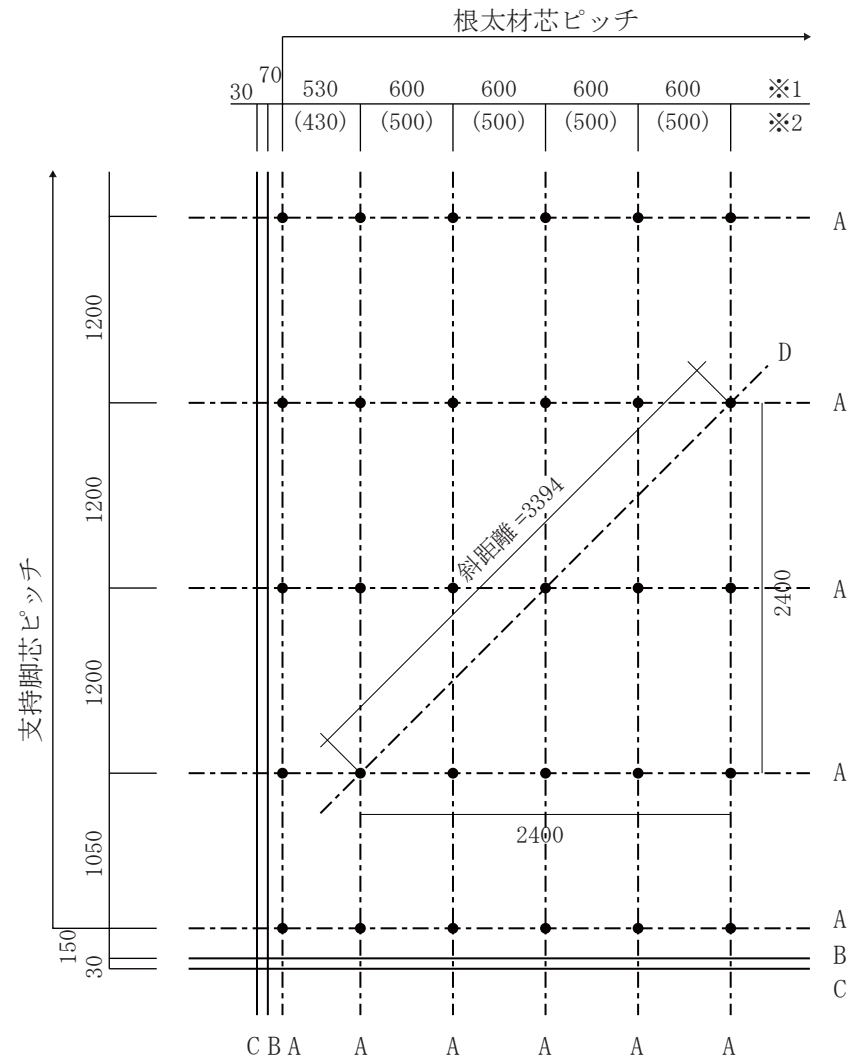
- ・施工箇所を清掃すると共に、コンクリート板の仕上がり状態を確認し、スラブの補修が必要なところは手直しします。
(大掛かりな補修となる場合は、GCに申し出て補修してもらう)

2 <支持脚位置の墨出し>

- ・基準墨に従って、コンクリート盤面に支持脚（調整ボルト）位置の墨出しをして下さい。
※標準割付は右図を参照して下さい。
斜距離を確認し、正確な角度であるか確認して下さい。

※部材片持ちに関する注意点

1. デッキ材 はね出し最大 150mm
2. 根太材 はね出し最大 200mm



A. 支持脚芯 B. 床板仕上がり位置 C. 幕板仕上がり位置 D. 斜距離確認

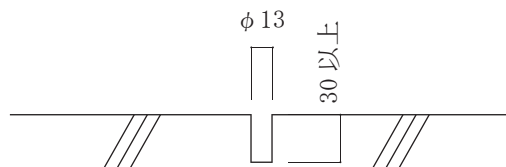
※1. 乗載荷重 3500N (約 350kg) を設定とした場合

※2. 乗載荷重 5000N (約 500kg) を設定とした場合

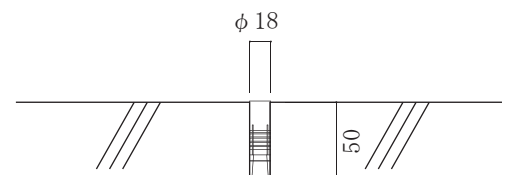
施工手順 3：コンクリート盤の穴あけ 4：支持脚設置 5：受けプレートのレベル調整と固定

3

＜削孔タイプ＞



＜AC：タイプ＞

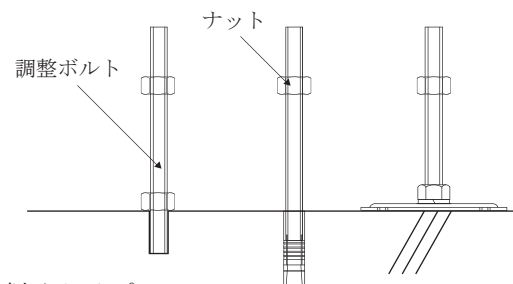


＜削孔・AC：タイプ＞

- ・墨出し位置にドリルで穴をあけます。
 - ・ドリルを垂直に構え穴をあけて下さい。
 - ・穴あけ後はブロアーを使用し、穴の中に溜まったコンクリート粉をきれいに除去して下さい。
- ※BP：タイプは除く

4

削孔タイプ AC：タイプ BP：タイプ



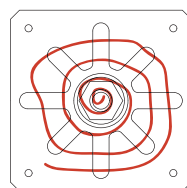
＜削孔タイプ＞

- ・所定の接着剤を使って、ボルト穴に適量（7.5g/本）注入して下さい。
- ・調整ボルトを埋め込み、完全硬化（24時間目安）まで養生して下さい。

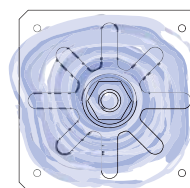
＜AC：タイプ＞

- ・アンカーを専用打ち込み棒で打ち込んで設置して下さい。
- ・設置後、ボルトをアンカー穴にしっかりと固定して下さい。

＜BP：タイプ＞



裏面

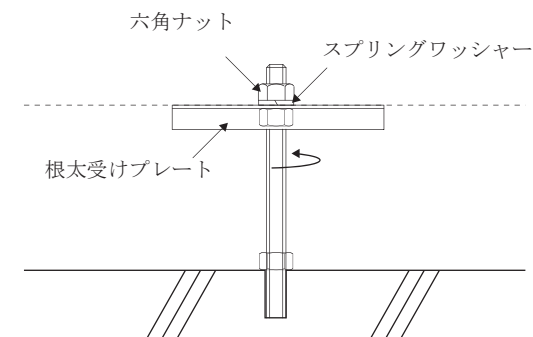


裏面

- ・接着剤（ウレタン樹脂）を、円を描くように塗して下さい。
- ※形状が複雑な所は、接着剤が隙間にしっかりと行き届くように塗して下さい。

5

例：削孔タイプ

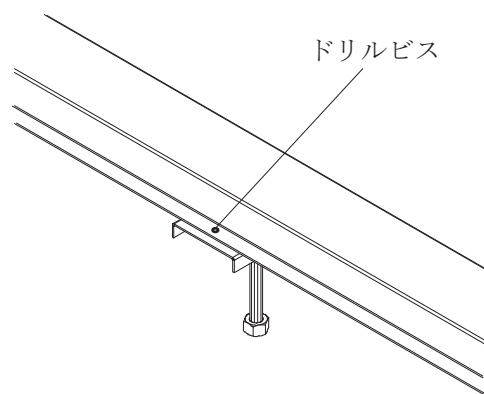


- ・水準器、水糸等にて受けプレートのレベルを決めて下さい。
 - ・受けプレートを所定の高さに調整し、しっかりと固定します。
- ※調整ボルトが垂直に設置されていない時は強制して下さい。
- ・調整ボルトが長いときは、切断して下さい（切断後にもレベル調整できるよう、2cmほど余を残す）。
 - ・ボルトが溶融亜鉛めっき処理の場合は、ボルト切断後に必ずローバルなどで錆防止をして下さい。

施工手順 6：根太材の固定

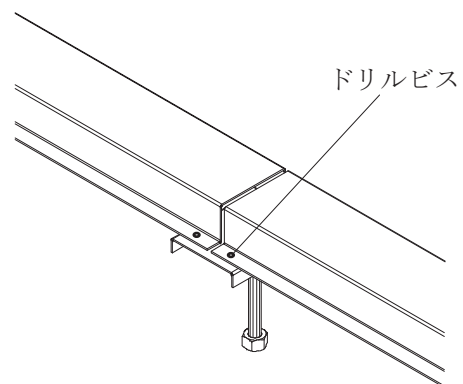
6

＜標準部＞

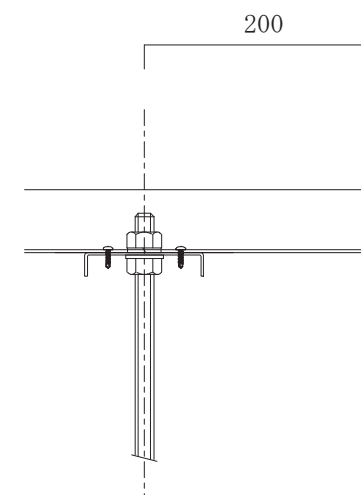


・受けプレート位置の根太材の両断部をそれぞれドリルビス（M4×16, SUS410, なべ）で固定します。

＜連続部＞



・受けプレート位置の根太材の両断部をそれぞれドリルビス（M4×16, SUS410, なべ）で固定します。



※端部のはね出し長さは、支持脚中心より最大 200mmまでとします。

施工手順7：リバーウッドデッキ材取付

7-1 ＜「芝目張り」について＞

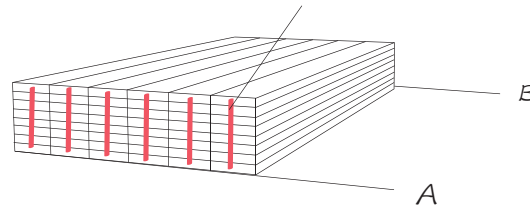
「芝目張り」とは

無表情な再生木材に、意図的に表情を与える張り方です。

デッキの製造工程で、微小ですが表面にサンディングの方向性が生まれます。結果、光の陰影によってデッキ材の向きに表と裏が生まれます。その現象を利用し、板を1枚ずつ交互に向きを変えて張ることで、サッカーコートの芝生のように縞模様の表情が生まれます。

＜管理＞

目印：マジック（水性）など



板の方向性が揃った状態で搬入されてくるので、あらかじめ水性マーカーなどで向きが分かるよう印をつけて下さい。

＜張り方＞

A	◀	B
B	 ▶	A
A	◀	B
B	 ▶	A

交互にデッキ材の向きを変えながら張って下さい。

7-2 ＜デッキ材の材長管理について＞

デッキ材は熱膨張によって伸びる性質があります。

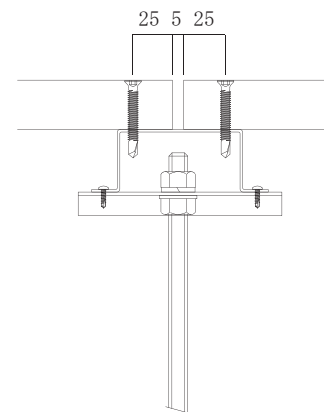
（夏場では、最大5～6mm伸びる場合があります）

施工する時期によってデッキ材の長さが異なるので、必ずデッキ材の寸法を測り、適正な材長管理、突合せ目地管理をして下さい。

材長基準	突合せ目地		測定寸法	突合せ目地
1995mm	5mm	. . .	例： 1998mm	2mm
2394mm	6mm	. . .	例： 2396mm	4mm

図 1. デッキ突合せ部

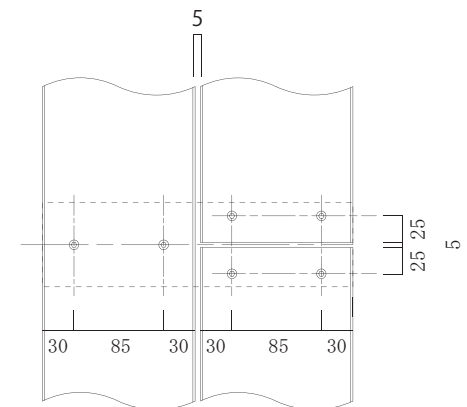
例：ビス仕上



デッキ突合せ目地 = 5mm

図 2. デッキ突合せ+ビス位置詳細図

例：ビス仕上



デッキ横目地 = 5mm

施工手順7：リバーウッドデッキ材取付

7-3 デッキの張出し

- ・一枚目のデッキの固定位置を決定します。
横目地 5mm（端部 2.5mm：図1 参照）、突合せ目地 5mm（端部 2.5mm：図2 参照）を確保して下さい。
- ・決定したら、万力などで仮止めし、専用固定ビスで固定して下さい。（ビス位置は図1を参照）

※1：ビスの固定方法

ビスの下穴=φ6 皿取り=φ10

※2：デッキ材の両木口部分は、糸面加工（1C）をして下さい。

図1. デッキ材割付詳細図1

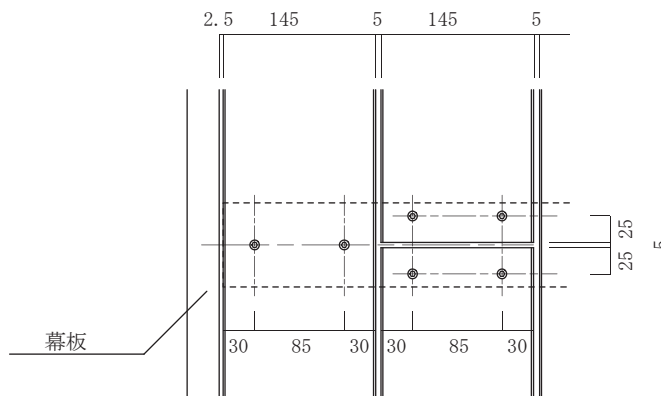
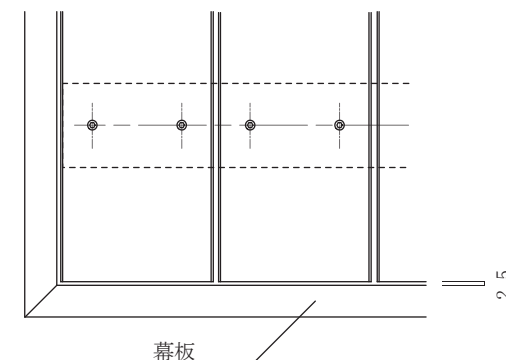
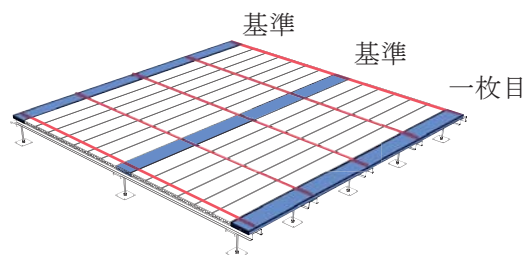


図2. デッキ材割付詳細図2

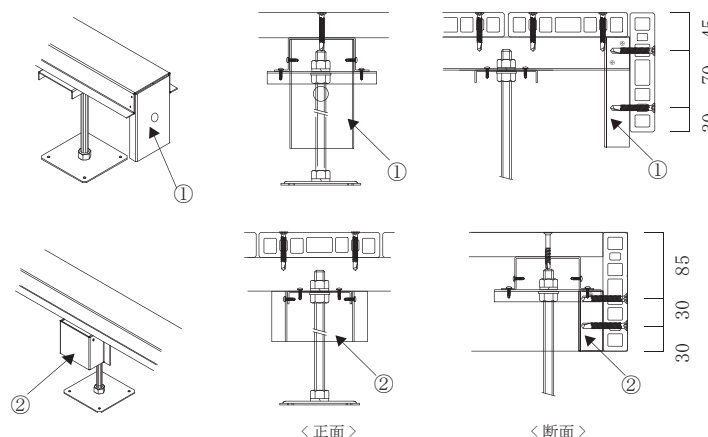


7-4 ビス位置の墨出し



- ・一枚目のデッキを固定したら、二枚目以降から等間隔置き（図では8枚間隔）にデッキを固定し、デッキ材のピッチが狂わないよう基準を作ります。
- ・次にスペーサー（5mm）を用いてデッキを配置していきます。
- ・配置したら、ビスを墨の基準にし、全体のビス位置の墨出しを行い、デッキを固定していきます。
- ・以降この作業の繰り返しです。

7-5 幕板固定金物



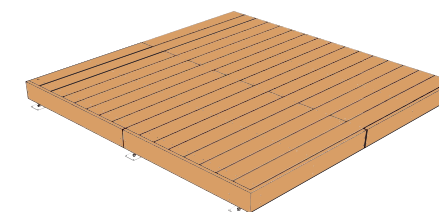
①幕板受けプレート：130×76.2×t1.6(ZAM)

②ハット型根太 80×40(ZAM)

左右から専用固定ビス（どりどり君）で固定して下さい。

※幕板固定ピッチ：①、②=θ根太ピッチ

7-6 完成



- ・完成後、点検、清掃を行って下さい。
- ・以上で作業終了となります。

施工手順7：リバーウッドデッキ材取付

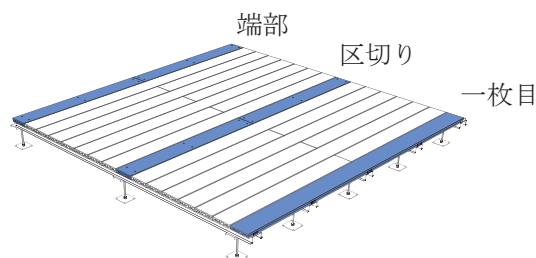
7-3 デッキの張出し

- ・一枚目のデッキの固定位置を決定します。
横目地 5mm（端部 2.5mm：図1 参照）、突合せ目地 5mm（端部 2.5mm：図2 参照）を確保して下さい。
- ・決定したら、万力などで仮止めします。
- ・次にデッキ材のスリット部にのんびす君C（デッキ固定金具端部用）を差し込みます。
- ・一枚目のデッキの固定位置が決まったら、デッキ固定金具をビス（ドリルビス）で根太材に固定します。

※1：デッキ固定金具のビス（ドリル、タッピング）は、同梱されています。

※2：デッキ材の両木口部分は、糸面加工（1C）をして下さい。

7-4 デッキ張り



- ・一枚目のデッキを固定したら、二枚目以降はのんびす君H（デッキ固定金具中間用）を用いてデッキ材を固定していきます。
- ・以降この作業の繰り返しです。デッキ材の取付施工において 20 枚程度を施工した所でその都度目地のクリアランス、固定金具の緩み、その他の状況を確認しながら施工を進めてください。

※1：デッキの端部（張り終り部）は、ビス固定です。

※2：ノンビスの場合、固定金具によってデッキ材が連結してしまいます。補修や貼り替えなどを考慮し、20～30 枚を目安に、区切って下さい。

図1. デッキ固定金具取付

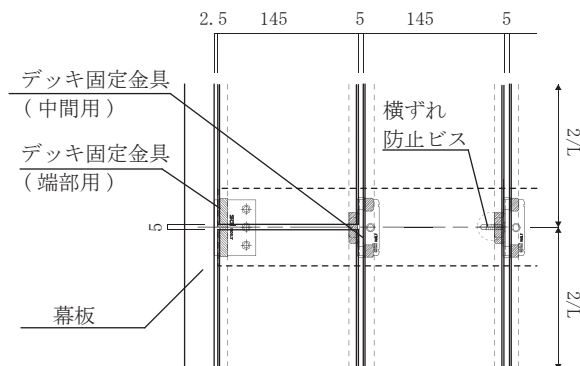
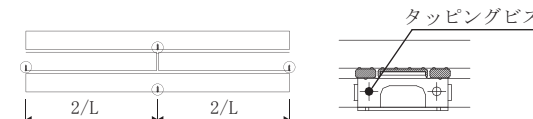
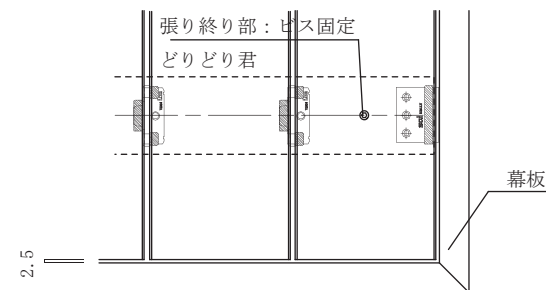


図2. デッキ材横ズレ防止

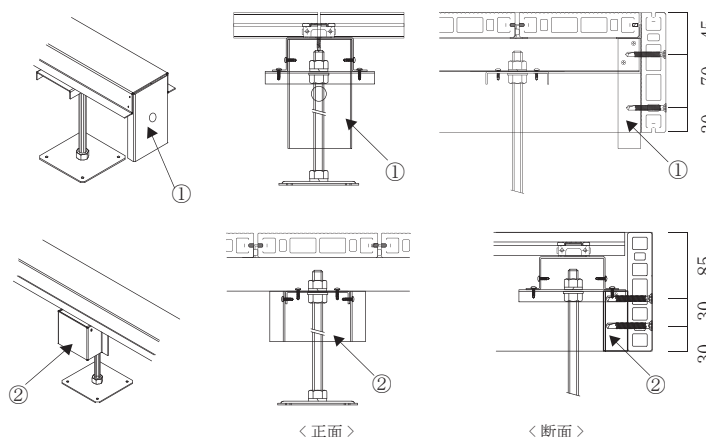


デッキ材の材長方向中央部に位置する固定金具を、タッピングビス（固定金具に同梱）でデッキ材の側面に一ヶ所固定して下さい。

※デッキ材の中央部を固定することにより、熱膨張によるデッキ材の伸縮が左右均一になる事や、材長方向へのずれ防止になります。



7-5 幕板固定金物



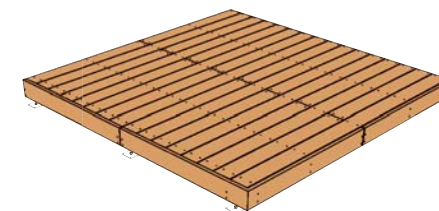
①幕板受けプレート：130×76.2×t1.6(ZAM)

②ハット型根太 80×40(ZAM) 余り材使用

左右から専用固定ビス（どりどり君）で固定して下さい。

※幕板固定ピッチ：①、②=◎根太ピッチ

7-6 完成



- ・完成後、点検、清掃を行って下さい。

以上で作業終了となります。